

平成26年度 社会福祉法人境町社会福祉協議会事業報告

平成26年度の運営方針に基づき、地域が抱えている種々の福祉問題を地域全体の問題として捉え、多様化するニーズに対し、住民の理解と協力を得ながら、福祉・保健・医療関係機関・各種団体・施設・ボランティアとの連携を図り、福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を図ることを目的とし、次の事業を実施した。

1. 法人運営部門

(1) 理事会・評議員会の開催

- ①理事会 4回 評議員会 4回 監査 1回
 - ・事業報告及び決算 5/28
 - ・会長の選任及び就業規程一部改正 9/3
 - ・補正予算及び経理規程の改正及び基金規程の一部改正 12/18, 19
 - ・事業計画及び予算 3/19, 20
- ②会費検討会 理事・評議員・監事合同 1回 6/13

(2) 役員研修

- ①福島県南相馬市「被災地復興支援」 10/14～15 31名参加
- ②新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム 6/19 9名参加

(3) 社協運営基盤の強化

- ①自主財源確保のため、一般・特別会費等の徴収に努めた。

会費種別	件数	金額
普通会費	5,738	2,869,000
特別会費	66	100,267
法人・福社会費	746	3,911,000
特別法人・福社会費	18	540,000
合計	6,568	7,420,267

- ②共同募金配分金の財源確保のため赤い羽根・歳末助け合い募金活動に努めた。
- ③介護保険における3事業所（居宅介護支援・通所介護・訪問介護）と、障害者総合支援法における障害福祉サービス事業所について、安定した経営に努めた。

(4) 会館の運営管理

- ・各福祉団体の活動の場として利用できるよう、施設の運営管理に努めた。

社会福祉会館の利用実績

利用団体	延回数	延人数
Vサークル・福祉団体等	47回	843名

(5) 福祉バスの運営・維持管理

①安全に快適に利用できるよう、整備・安全運転・維持管理に努め、住民の福祉とサービス向上に努めた。

福祉バス利用実績

バス	利用延日数	利用延人数
大型バス（定員54名乗り）	122日	3,486名
ふれあいバス（定員42名乗り）	88日	2,173名

(6) 広報事業

①「社協だより」を隔月に発行し、全戸配布することにより社会福祉協議会の活動内容の周知に努めた。

②ホームページを随時更新し、住民への情報発信に努めた。

2. 地域福祉活動推進部門

(1) 共同募金運動の推進

①赤い羽根募金・歳末助け合い募金は「みんなで 支えあう あったかい地域づくり」をスローガンに展開し、区長会や各団体・学校・職域等多くの関係者の協力により展開し、下記の実績を収めた。

共同募金実績

赤い羽根募金

地区	実績額(円)	備考
境地区	702,350	目標額 1世帯400円目安
長田地区	487,200	
猿島地区	425,600	
森戸地区	415,200	
静地区	251,200	
学校募金	236,336	各小中学校・境高校
職域募金	92,140	クオカードによる募金
大口募金	536,000	各企業・商店・個人
募金箱	26,287	町内に設置
イベント募金	5,235	
自動販売機	6,490	募金のできる自販機（福祉会館に設置）
預金利子	152	
合計	3,184,190	

歳末助け合い募金

地 区	実 績 額 (円)	備 考
境 地 区	528,750	目標額 1世帯300円目安
長 田 地 区	365,400	
猿 島 地 区	320,100	
森 戸 地 区	311,400	
静 地 区	188,400	
団 体 募 金	89,855	西南医療センター看護士会・コジマ測量
昨 年 剩 余 金	824,288	茨城県共同募金会より
預 金 利 子	96	
合 計	2,628,289	

配 分 実 績

	事 業 名	金 額 (円)	対 象 者
1	歳末たすけあい見舞金給付事業	1,130,000	88世帯
2	紙オムツ購入支援事業	355,000	71名
3	地域福祉事業	100,000	父母の会
	合 計	1,585,000	

募金実績額 2,628,289円
 配分金合計 1,585,000円
 県共募へ送金 1,043,289円

・見舞金給付事業については、配分金とあわせて境町生産組織運営協議会と茨城県農業機械士協議会境支部からの寄贈米30袋を配分した。

(2) ボランティア活動育成事業

- ①社会福祉についての理解と関心を高めるための啓発に努めるとともに、ボランティアの育成及び実践活動の推進を図った。
- ②ボランティアセンター運営委員会による取り組みで、広報や養成研修を実施した。
 - ・「さかいボランテ」 年3回発行
 - ・傾聴ボランティア養成講座(8/22・29) 社会福祉会館 延べ36名受講
 - ・メイクアップボランティア養成講座(1/15) 社会福祉会館 6名受講
- ③ボランティアの相談・登録・支援等コーディネート機能強化に努めた。
- ④安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進に努めた。

(3) 児童福祉の推進

- ①“子どものときから福祉の目を”をスローガンのもとに、児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校に全小・中学校を指定し、助成と情報提供を行い福祉教育の推進に努めた。

- ②上記スローガンのもとに、ボランティア会員の講師や職員が各学校に出向き、手話・点字・車いす体験・疑似体験・福祉機器の貸し出し等を実施し、福祉への関心・理解の周知に努めた。

(4) 高齢者福祉の推進

- ①老人クラブ連合会への活動支援
 ②ゲートボール大会やペタンク大会・グラウンドゴルフ大会等の支援をし、スポーツの振興・普及に努めた。
 ③介護予防としてボランティアサークルの協力を得て介護予防体操を実施した。また、春と秋にはハイキングを実施し、高齢者の健康づくりや生きがい対策に努めた。
 ④町や警察署等の協力を得て、交通安全教室や悪質商法についての教室を開催し、高齢者の事故や防犯について周知した。
 ⑤健康づくり仲間づくりを目的としたシニアカレッジの実施。

	実施日	内容	参加人数
歴史散策	5 / 15	境の歴史	21名
	7 / 16	戦争体験談	39名
	9 / 25	水戸市の歴史	39名
	10 / 21	結城市の歴史	40名
ハイキング	4 / 30	笠間つつじ	40名
	6 / 24	大平山	35名
	11 / 11	つくば道	39名
	2 / 13	真壁ひなまつり	38名

(5) 障害者福祉の推進

- ①障害者と健常者の交流会を開催し、ボランティアとの交流や情報提供等を行い支援に努めた。 10月 ぶどう狩りを実施 33名参加
 ②障害児の育児に関する情報提供や機能回復訓練等への支援に努めた。
 ③県立境特別支援学校の行事等への協力及び地域交流推進に努めた。

(6) 母子寡婦・父子福祉の推進

- ①小学校入学児童お祝いの集いを開催し、小学校入学児童21名に対し図書カードを贈呈した。 37名参加

(7) 啓発事業

- ①第20回福祉映画会の実施 (H27. 1 / 25 中央公民館) 来場者数 370名
 ・講演「音楽を使って心と体をリフレッシュ」
 講師：境町地域包括支援センターファミリー境
 ・映画 認知症の母との日常生活を描いた「ペコロスの母に会いに行く」を上映
 ・会場ロビーにて、町内や近隣福祉施設の利用者の作品を展示販売し、福祉への理解と支援を行った。

(3) 子育てサポーター派遣事業

- ①仕事や急用等の際に子供を見てほしい等子育てに関する様々な支援を受けたい人（利用会員）と地域の子育てを援助できる人（提供会員）をコーディネートし、身体的・精神的負担の軽減を図り、安全に安心して子育てができる支援活動の推進に努めた。

登録者数：利用会員31名 ・ 提供会員25名 ・ 両方会員 1名

援助内容	利用者数	利用延回数
・子供の習い事等の送迎	2	164回
・学童の迎え及び放課後の預かり	2	296回
・保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1	72回
・保育所・学校等休み等の援助	1	7回
・保護者の外出の際の預かり	1	2回
・保護者等の冠婚葬祭や兄弟の行事の際の援助	1	2回
・障害者の長女の面倒を見るため兄弟の世話を援助	1	11回

- ②子育てサポーター養成講座の実施 H27. 1/22 8名参加

講師：ひばりの会（子守唄ボランティアグループ）

「道具なしでも子供と楽しく遊べる遊び・歌遊び」

(4) 地域ケアシステム推進事業

高齢者や障害者が、住みなれた家庭や地域で、安心して暮らせるよう、地域社会において福祉・保健・医療関係者で「在宅ケアチーム」を組み、要援護者一人ひとりのニーズにあった総合的かつ着実なサービスを提供できるよう努めた。

(5) 配食サービス

ボランティアの協力を得て、ひとり暮らしや高齢者世帯等に週1回のお弁当を届けることにより、食生活の安定と健康維持を図り、安否の確認と支え合いながら住みよい地域づくりの推進に努めた。

3月末登録者数64名 延べ食数 2,561食

(6) 生活福祉資金・総合支援資金等の貸付事業

低所得者・障害者・高齢者世帯等に対し、貸付相談等を通じて経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉及び社会参加、安定した生活に向けての支援をした。

生活福祉資金貸付状況

H26年度末現在

貸付件数	28件（内、H26年度貸付件数 2件）
貸付額合計	16,401,020円
3月末償還金残高	17,201,051円（滞納額も含む）

(7) 日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や知的または精神的に障害のある方など判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、生活支援員と専門員が福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行い、日常生活を支援した。

生活支援員 3名 専門員 1名（社協職員）

	契約者数	在宅	施設	病院	グループホーム	延べ支援回数
高齢者	7	3	2		2	118回
知的障害者	3	3				46回
精神障害者	3	2		1		113回
その他	1	1				12回

(8) 善意銀行の運営

- ①善意をもって寄せられた預託金・預託品の受託並びに払い出しを行った。
- ②緊急生活つなぎ資金の貸付を行い、生活支援を行った。
- ③福祉機器（車いす・特殊寝台等）の無料貸し出しを行うことにより、身体機能維持向上さらには介護者の介護負担軽減に努めた。

【預託状況】

区分	預託状況			備考
	物品	件数	金額	
26年度計	172件	16件	101,348	使用済み切手・書き損じはがき タオル・使用済みテレカ・白米 ・紙おむつ・ポータブルトイレ ・衣類・石鹸・シーツ等 預託金 101,348 善意の箱 79,234 つなぎ返済金 253,146 <hr/> 433,728

【払出状況】

区分	払い出し状況			備考
	物品	件数	金額	
26年度計	34件	22件	293,718	米・タオル・紙おむつ・石鹸 シーツ・ポータブルトイレ お手玉等 つなぎ資金貸付 281,646 印刷代等 12,072 <hr/> 293,718

【福祉機器貸出状況】

品名	保有台数	延べ貸出件数
車いす	35	45
特殊寝台	15	14
エアーマット	6	0
松葉杖	5	1
歩行器	6	1
杖	11	1

(9) 実習生の受け入れ

高校・専門学校・大学生等の資格取得のための実習生の受け入れをし、人材養成の支援に努めた。

・古河第二高等学校・八千代高等学校 延べ 25名

4. 在宅サービス部門

(1) 介護保険法に基づく指定事業・・・居宅介護・通所介護・訪問介護（介護予防も含む）

障害者総合支援法に基づく事業・・・障害者福祉サービス

介護保険並びに障害サービスを利用する介護の必要な方や家族の要望を尊重し、心身の状態や家族の状況に考慮しながら、適切なサービスが提供できるよう努めた。

(2) 軽度生活援助事業

ひとり暮らしや高齢者世帯等に日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続及び要介護状態への進行防止に努めた。

利用延人数 35名 利用延回数 104回

(3) 身体障害者デイサービス事業

在宅の身体障害者等に対し、通所の方法により入浴・給食・送迎・日常動作訓練等のサービスを提供し、家族の介護負担の軽減や心身機能の維持向上を図り、自立的生活の援助、社会的孤立感の解消に努めた。

利用延人数 12名 利用延回数 50回

(4) 障害者移動支援事業

屋外での移動に困難がある障害者が、外出の際支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すことができた。

利用延人数 13名 利用延回数 33回

(5) 一般乗用旅客自動車運送事業（ケア輸送）

通院や施設への移動等、単独では公共交通機関を利用することが困難な者に対し、安全な輸送運行を行い、利用者や家族の負担軽減を行った。

利用延人数 142名